

虫の鳴き声を「声」と認識するのは日本人とポリネシア人だけ!?

気が付けば、すっかり秋の風情。澄んだ空にはいよし雲が浮かび、夜には虫の声が聞こえてきます。日本には古来から虫の音に聴き入る文化があり、虫の音に想いを重ねた和歌も多く残されていますね。

でも『虫の鳴き声を「声」と認識するのは日本人とポリネシア人だけ』という説があることをご存知でしたか？

東京医科歯科大学の角田忠信教授が1987年1月にキューバの学会に出席した時、周囲の外国人には賑やかな虫の声が耳に入っていないという事実に関心し、研究を始めました。

そもそも人間の脳は、右脳と左脳でそれぞれ得意分野があり、右脳は音楽脳とも呼ばれて感性や感覚を司っています。一方、左脳は言語脳と呼ばれ、言語の理解などの論理的知的な処理を受け持っています。そして角田教授は、日本人とポリネシア人だけが虫の音や雨音、小川のせせらぎなどの自然音を左脳で受け止めるのに対し、その他の多くの民族は右脳で処理しているということをつきとめたのです。そのため、彼らには虫の声は「雑音」にしか聞こえないのだそうです。

では、なぜ日本人とポリネシア人だけが他の民族と異なる処理をするようになったのでしょうか？ 角田教授の研究によると、その理由は、言語の特徴にあるといいます。日本語とポリネシア語は母音を中心としており、他の多くの言語は子音を中心としています。日本人とポリネシア人は母音も子音も左脳で処理し、他の言語圏の人は母音を右脳で受け止めてから子音を左脳で処理しているのだそうです。それゆえ、母音に近い自然音である虫の音も言語として左脳で受け止めるようになったということです。また、これは先天的なものではなく、日本人でも外国語を母国語として育てられると西洋型となり、外国人でも日本語を母国語として育つと日本人型になるらしいのです。

実は、この説に反論する論文もいくつか発表されており、本当のところはわかりません。けれども、せっかくこの情緒的な感性を与えられた日本人に生まれたことに感謝し、秋の夜長、テレビを消してスマホもしまして、虫の音に耳を澄ませてみませんか？



目を大切に!! ブルーライト対策をしていますか?

10月10日は「目の愛護デー」です。昨今のスマートフォンやパソコンの普及により、大人も子どもも目の酷使の度合いは昔の比ではありません。特にデジタルディスプレイから発せられるブルーライトは、角膜や水晶体で吸収されることなく、網膜まで到達して散乱する強い光線です。目への直接のダメージのほか、睡眠や精神状態に悪影響を及ぼすことが懸念されています。少し前に、ブルーライト対策の専用フィルムやPCメガネが流行りましたが、今回はお金をかけずにブルーライトをカットする方法をご紹介します。



まず、iPhoneやiPadには「Night Shift」というブルーライトを軽減する機能があります（一部の機種を除く）。

[設定]→[画面表示と明るさ]→[Night Shift]と進み、オン/オフをスケジュールしたり、手動で起動することができます。

一定の要件を満たしたMacパソコンでも「Night Shift」が使えます。

Android スマホは機種によって異なります。お使いの機種にブルーライト対策機能がない場合は、App Store や Google Play で同様の機能を持つアプリをダウンロードしましょう。無料で高機能なアプリが用意されています。

また、Creators Update が適用済みの Windows10 には「夜間モード」という機能があります。アクションセンターの[夜間モード]をクリックして ON にすれば OK。色合いやスケジュールは、[夜間モード]を右クリック→[設定を開く]→[夜間モード設定]で設定ができます。

その他のパソコンの場合は、「f.lux」という定番ソフトがおすすめです。海外製ソフトで日本語に対応していませんが、下記のサイトでダウンロードから設定までわかりやすく解説されていますので、参考にして下さい。(<http://freesoft-100.com/review/flux.html>)

★チラシ・フライヤー・会社案内・名刺など

デザイン制作・印刷 お任せ下さい!!

★ホームページ制作お任せ下さい!!

オリジナルデザインで更新しやすいホームページを!

今あるホームページの編集作業もお任せ!!

◎ パソコン本体・周辺機器 格安にご提供させて頂きます!

◎ パソコントラブル ご相談下さい!

◎ パソコン教室 無料体験実施中!

f MadecomのFacebook 始めました!! 是非アクセスして下さい!

株式会社 マデコム

〒510-8122 三重県三重郡川越町豊田659-1

TEL : 059-366-0888

FAX : 059-366-0877

E-Mail : office@madecom.co.jp

URL : <http://www.madecom.co.jp>

発行 : 2017年10月1日

編集・作成 : 早川尚孝

